

## 令和7年度 南区地域福祉アクションプラン地区別計画進捗確認一覧

南区地域福祉アクションプラン 令和7年度地区別計画進捗確認一覧

地区名	令和7年度推進計画			評価									
	スローガン	推進目標	R6年度取組んでの課題と次年度引継ぎ事項	令和7年度の目標と取組み	取組んだ活動事業	取組んでの課題と次年度引継ぎ事項	住民参加	協議の場づくり	関係機関団体との連携協働	つながりひろがり	住民の理解促進	周知PR	
新飯田 笑顔いっぱい「おたがいさまらて」と心が通い合う新飯田		支え合いのしくみづくり	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移動式茶の間の空白地域での開催に向けた、候補地区の検討が必要。</li> <li>・地域の茶の間への参加者で、送迎が必要な人が増えてきている。</li> </ul> <p>【次年度への引き継ぎ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の茶の間の空白地区での移動式茶の間の開催</li> <li>・地域の茶の間への送迎の課題</li> <li>・防災訓練の他地区との開催の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移動茶の間の開催 地域住民の交流促進を目的に、古町(6/26)・館(9月予定)・にいだの里(7/24、10/23)の各会場で「移動式茶の間」を実施。今後は、上吉上の「吉の会」のように、継続的な居場所づくりに発展させていきたい。にいだの里での開催について、送迎協力を依頼。</li> </ul>									
		地域活動への住民の参加推進		<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりサポートを活用し、ボランティアグループふおうはあとより、7/12アロマ石鹸づくり、7/26化学教室、8/5お寺で遊ぼう(白根高校にボランティア募集予定)。</li> <li>・10月にハロウィンイベントを開催予定。地域の子どもたちの参加と交流の機会とする。</li> </ul>									
		防災・減災活動への取り組み		<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災訓練の実施 6/19:白南中学校区での合同訓練(防災士との連携)。</li> <li>7/6:新飯田地区の防災訓練を小学校で実施予定(心肺蘇生法、AED講習、物資配給訓練など)。</li> </ul> <p>他地区との連携を通じて、住民の防災意識の向上を図る。</p>									
		地域のPR		<ul style="list-style-type: none"> <li>・チラシにQRコードを入れることにより手軽に情報を取得できるよう工夫</li> <li>・LINEの運用について、フォロー数に応じて費用が発生が分かり、導入を再考中</li> <li>・有願公園の公式Instagramを発見。新飯田の情報も掲載可能か、運用者への相談を検討中</li> <li>・行政のX(旧Twitter)では、チラシ等があればイベント情報の掲載が可能。</li> </ul>									

南区地域福祉アクションプラン 令和7年度地区別計画進捗確認一覧

地区名	令和7年度推進計画			評 価								
	スローガン	推進目標	R6年度取組んでの課題と次年度引継ぎ事項	令和7年度の目標と取組み	取組んだ活動事業	取組んでの課題と次年度引継ぎ事項	住民参加	協議の場づくり	関係機関団体との連携協働	つながりひろがり	住民の理解促進	周知PR
茨曾根	笑顔で支え合う 桃の花咲く茨曾根	支え合いのしくみづくり	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業が多く、役員の負担も大きいことから、自治会での自主防災の講習は開催できなかった</li> <li>・発災直後の初動と避難所の運営の役割分担を図ることが課題になっている</li> <li>・地域の役員に女性の参加が少ないことが課題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の介護予防を目的にグランドゴルフを実施。参加しやすい平日開催を検討中。声かけで孤立しがちな高齢者の参加を促進。交流の機会としても好評。</li> <li>・運営負担の偏りを減らすため、協力しやすい運営体制づくりが課題。</li> </ul>								
		子ども達を地域で育てる取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の茶の間の高齢化で、運営の支援者が必要になっている。応援体制を作れると良い</li> <li>・「グランドゴルフ」定着には定期開催や声かけの工夫が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・茨曾根フェスティバルは子ども中心に企画、夏休み中の参加を想定。</li> <li>・小学生の親世代にとって無理のない関わり方の工夫も必要。</li> <li>・子どもも楽しめる活動を通じ、親子の地域参加(親世代の同級会の促し)のきっかけづくりを目指す。</li> </ul>								
		防災・減災の取組み	<p>【次年度への引き継ぎ】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①地域の防災意識を保つため、年間計画で防災に触れる機会をつくることや、自治会内の防災役員の定着、女性の防災士誕生を応援するなどに取り組む</li> <li>②「グランドゴルフ」を通じ、地域で定期的に集まり介護予防になる高齢者の新たな活動を促進する</li> <li>③茨曾根フェスティバル等の楽しい活動の中から次世代の育成を継続していく</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災士研修会を2か月に1回(年3回)開催し、防災意識の定着を図る。</li> <li>・女性防災士が2名に増加し、仕事や施設での活動に活かされている。</li> <li>・子ども向けの防災教育にも注力し、地域ぐるみで減災力を強化。</li> </ul>								
		情報発信		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活動の様子や成果を広報物や口コミで伝え、参加意欲を高める。</li> <li>・イベント参加時、飲食ブースでの同級生交流など、身近な成功事例を発信して参加を促す。</li> </ul>								

南区地域福祉アクションプラン 令和7年度地区別計画進捗確認一覧

地区名	令和7年度推進計画			評価								
	スローガン	推進目標	R6年度取組んでの課題と次年度引継ぎ事項	令和7年度の目標と取組み	取組んだ活動事業	取組んでの課題と次年度引継ぎ事項	住民参加	協議の場づくり	関係機関団体との連携協働	つながりひろがり	住民の理解促進	周知PR
庄瀬	声をかけ合う話し合う助け合う沢山の合(愛)がある庄瀬	支え合いのしくみづくり	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なじらね庄瀬では、取り組むごとに課題がでてくる。(区外の医療機関同行、同敷地内や近隣に親族がいる世帯への支援、新規支援希望者は増加しているがボランティアが増えない、気になる人がいた時の専門職への相談のタイミング…など)その都度検討しているが、やってみないとわからないことが多い。</li> </ul> <p>【次年度への引き継ぎ事項】</p> <p>地域の茶の間についてコミ協だより等で紹介するなど周知を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい事業所とのつながりの継続</li> <li>・白南中学校を会場とした3地区防災訓練の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の茶の間を拠点とした見守りや情報交換の場づくりを継続。</li> <li>・障がい福祉事業所(まめの木・梨の里)と連携し、授産品販売や交流を実施。</li> <li>・弁当配布で地元の食材を活用、利用者との自然な交流が生まれる。</li> <li>・「なじらね庄瀬」では、近所で助け合う例がある一方、孤立した人からの相談もあり。</li> <li>・孤立死が2件発生し、地域の見守りの必要性が再確認された。</li> <li>・ラベンダー栽培→加工などを通じて、世代を超えた交流や支え合いのきっかけづくり。</li> </ul>								
		若い世代との交流推進		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「よるのがっこう」8/23開催予定、技術、能力、強みのある若者や中学生がスタッフとして参加。子ども服譲渡会・ベビーマッサージなど、多世代交流イベントをお寺で初開催。</li> <li>・庄瀬春まつりでは庄瀬っ子ボランティアの登録やワークショップ講師紹介など、他事業との連携が生まれた。</li> <li>・放課後児童クラブでの交流を通じて、子どもたちの障がい理解にも寄与。</li> </ul> <p>「何かやりたいが、きっかけがない」人への第一歩となるような機会を提供した。</p>								
		防災・減災活動への取組み		<ul style="list-style-type: none"> <li>・白南中学校で3地区合同防災訓練を開催(生徒と地域が共同で避難所運営)。小学校と合同で地域防災訓練を継続予定、自治会と消防団で全戸訪問実施。</li> <li>・地域内の防犯意識は低下傾向、やり方の検討が必要。</li> </ul>								
		組織強化		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の茶の間や各活動の様子を「コミ協だより(R7年3月号)」に掲載した。スペースの都合もあるが、定期的な掲載で周知を継続予定。</li> <li>・「よるのがっこう」のチラシを見たことで関心を持つ住民もあり、参加のきっかけになった。</li> <li>・庄瀬春まつりでのチラシ配布や口コミにより、他事業への広がりを実感。</li> </ul>								

南区地域福祉アクションプラン 令和7年度地区別計画進捗確認一覧

地区名	令和7年度推進計画			令和7年度の目標と取組み	取組んだ活動事業	評価					
	スローガン	推進目標	R6年度取組んでの課題と次年度引継ぎ事項			取組んでの課題と次年度引継ぎ事項	住民参加	協議の場づくり	関係機関団体との連携協働	つながりひろがり	住民の理解促進
小林	声かけ合い心をつなぐ小林地区	支え合いのしくみづくり	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お助け隊こばやしの活動が活発になるに従い、活動上の課題(移動支援や除雪に関して)が生まれており、検討協議を継続する必要がある</li> <li>・防災に関することでは、個別避難計画を立てた自治会もある中、要支援者の避難の送迎などの支援は住民の中でも負担感が大きい。継続して認識共有をしていく</li> </ul> <p>【次年度への引き継ぎ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康づくり事業の継続</li> <li>・お助け隊こばやしへの若い世代の参加促進と移動支援運転者の増員、活動で見えた課題の検討協議継続</li> <li>・各自治会での要支援者の避難支援など防災の取組みについては、地域内で慎重に検討を重ねていく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康づくりを通じて、元気なうちから地域と関わり、将来への備えを意識する。</li> <li>・一人暮らし高齢者の支援ニーズ増。移動支援など「お助け隊こばやし」の重要性が高い。若い世代の「お助け隊」参加促進は課題、土日の活動や声かけなど工夫が必要。</li> <li>・健診率の低下が問題。意識づけを行う必要あり。</li> <li>・「孤独死」防止へ、地域で共有し、寂しさ・不安を減らす体制づくりを検討。</li> <li>・子ども食堂や多世代交流の場づくりを通じて、誰もが居場所を持てる地域へ。</li> </ul>							
		子どもの健やかな成長を育む		<ul style="list-style-type: none"> <li>・中高生・高校生のボランティア活動の継続的な関わりをどう地域で育むかが必要。</li> <li>・学校運営委員や地域コーディネーターとの協働で、子どもの力を地域づくりに活かす。</li> <li>・子ども食堂や交流の場づくりで、子どもも高齢者も自然に交わる機会の創出。</li> </ul>							
		防災・減災の取り組み		<ul style="list-style-type: none"> <li>・各自治会で要支援者避難支援の実践を。要支援者名簿の運用は「本人の同意」を前提に、自治会で対応方法を決定。</li> <li>・災害訓練時使用した「グリーンリボン(無事の合図)」の導入は好評、今後も活用検討。</li> <li>・民生委員だけの安否確認は困難、自治会や近隣住民との連携強化が必要。</li> <li>・防災体制の充実を深めるため、定期的な見直しは必要。青少年の力を防災分野にも活かせるよう工夫も必要。</li> </ul>							
		情報発信		<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康づくりへの参加者が減少傾向。地域への積極的な呼びかけが必要。</li> <li>・お助け隊こばやしの活動や現状(移動支援の脆弱)を行政交え、地域とともに理解と協力を促進。</li> <li>・健診やセミナーへの参加を呼びかけることで、健康意識の向上を目指す。</li> </ul>							

南区地域福祉アクションプラン 令和7年度地区別計画進捗確認一覧

地区名	令和7年度推進計画			令和7年度の目標と取組み	評価							
	スローガン	推進目標	R6年度取組んでの課題と次年度引き継ぎ事項		取組んだ活動事業	取組んでの課題と次年度引き継ぎ事項	住民参加	協議の場づくり	関係機関団体との連携協働	つながりひろがり	住民の理解促進	周知PR
白井	「やろってば！」笑顔で仲良く白井地区	交流・仲間づくりができる集まる場がある地区	既存組織を大切に育て連携する	<b>【課題】</b> ・保育園や高齢者施設から災害時の避難支援についての相談があった。 ・敬老会の参加について、参加者が楽しいと思うと口コミで広がり、参加者の増加につながる。参加者が楽しいと思える内容の検討が必要。  <b>【次年度への引き継ぎ】</b> ・災害時の一時避難として民間企業等の協力が得られないか検討する。	・近隣商店も保育園の一時避難所として、口頭だが2階使用を了承。 ・小学校合同防災訓練を6/20に開催。 ・自治会対抗フアーカーリング大会を開催検討(時期未定)。 ・地域の特性をふまえ、小規模単位での支え合いの仕組みづくりを推進。 「何かあった時に相談できる流れ」(班長→自治会長→専門機関など)の構築を目指す。 ・コミ協総務委員会を活用し、自治会長交代時に顔合わせ・支え合い仕組みづくり説明を継続して行う。							
			既存事業を活発に									
			送迎を含め誰もが参加できる検討									
			事業者も地区の一員・交流積極的に									
		ボランティアや地区活動を理解し関心をもてる地区	あいさつ運動を実施する	<b>【課題】</b> ・支え合いのしくみづくりについて、住民への説明をするためにも自治会長に理解をしてもらう必要がある。  <b>【次年度への引き継ぎ】</b> ・支え合いのしくみづくりについて、自治会等への説明を行う。	・高齢者施設から、夜間の災害時に地域住民の協力を求める相談あり。自治会と施設の連携や、要支援者名簿への登録検討が必要。 ・地域性に配慮し、民生委員の担当地区や自治会単位で取り組むでもよいのではないかと。 ・支援体制の目的や流れを明確にし、役員が変わっても継続できる体制づくりが必要。							
			ボランティアや地区活動に積極参加									
行事や活動の情報提供・PR												

南区地域福祉アクションプラン 令和7年度地区別計画進捗確認一覧

地区名	令和7年度推進計画			令和7年度の目標と取組み	取組んだ活動事業	評価					
	スローガン	推進目標	R6年度取組んでの課題と次年度引継ぎ事項			住民参加	協議の場づくり	関係機関団体との連携協働	つながりひろがり	住民の理解促進	周知PR
大郷	なじらね～？と声をかけあう大郷地区	支え合いのしくみづくり	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の中でも介護を必要とされる方、家族の介護をしている方は増えているが、介護サービスの利用方法や相談先についてわからない人がいるので周知が必要。</li> <li>・地域包括支援センターとのつながりが少ない。これから介護を受けるという人もセンターの職員の顔がわかると安心できる。</li> <li>・災害避難所の物品一覧について事務局用のものはできた。自治会等とも共有できるものがあるといい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・困りごとの相談先は「近所の人」や「経験者」が多く、自然と地域の中で助け合いができている部分もある。</li> <li>・高齢者の将来への不安は多いが、経験がないと相談先が分からない人が多い。自治会長や民生委員、地域包括支援センターへの相談の流れを地域に伝える必要あり。敬老会に包括が参加し、劇などを通じてわかりやすく相談先を周知できるとよい。</li> <li>・買い物支援などの移動課題は、包括支援センターへの相談で対応。</li> </ul>							
		担い手の育成	<p>【次年度への引き継ぎ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・若い世代にも参加してもらうことを目的に、小学校と合同での防災訓練や子ども防災教室の開催について検討する。</li> <li>・地域事業開催の際に地域包括支援センターにも声かけを行い、地域とのつながりをつくる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・敬老会に子どもたち（「元気届け隊」として宮のぼりクラブ）が協力予定。</li> <li>・敬老会の名称が若い高齢者の参加を妨げている可能性（75歳代の参加が少ない）。</li> <li>・夜祭で中学生がかき氷を出店予定（中学生の居場所で練習中）小学生にも盛り上げ隊として関わるなど、多世代の関わりも生まれている。</li> </ul>							
		災害への取組み		<ul style="list-style-type: none"> <li>・9月に薦巻地区と合同で自主防災が中心となった防災講座を開催予定。学校防災授業と連携し、防災士の講話や避難所体験合宿などができるとうい。</li> <li>・昨年夏の子ども防災教室（持ち出し品シール貼り）の内容がわかりやすく良かった。地域にも展開可能。コロナ前には小学校で防災教室も開催していた。</li> </ul>							

南区地域福祉アクションプラン 令和7年度地区別計画進捗確認一覧

地区名	令和7年度推進計画			評価								
	スローガン	推進目標	R6年度取組んでの課題と次年度引継ぎ事項	令和7年度の目標と取組み	取組んだ活動事業	取組んでの課題と次年度引継ぎ事項	住民参加	協議の場づくり	関係機関団体との連携協働	つながりひろがり	住民の理解促進	周知PR
鷺巻	全員集合！ 鷺巻地区 ～笑顔の和を ひろげよう～	支え合いのしくみづくり	【課題】 ・コミュニティカフェは若い世代の参加が中心で、高齢者の参加は少なめなためもっと参加してほしい。足の課題や声掛けなど工夫が必要。 ・認知症サポーター養成講座の日が、自主防災会の日程と重なり、参加者が増えなかったため、今後は他の行事と重ならないように調整する。	・少子化により学校統合が進行中、地域として子どもの教育環境を見守る必要がある。 ・外国人住民の増加(空き家が借家化し、複数人での生活)に伴い、自治会費の収集は大家経由で行うなど対応。 ・地域イベントを通じて顔がつながることを重視。日常的な支え合いに繋がる関係づくりを意識。								
		交流の機会の創出	【次年度への引き継ぎ】 ・SNSを活用した若い世代への情報発信 ・「〇〇世代のイベント」ではなく、誰でも参加できるよう、声掛けの工夫、足の課題の検討 ・プロジェクターを利用した映画会の検討 ・地域のイベントと重ならないように確認しながら開催時期を決める	・コミュニティカフェ「わしのき」では味噌づくり・ヤンニョムづくりなどの体験イベントが好評。地区外からの参加もある。 ・SNSを活用した情報発信により、広い層へのアプローチが可能となっている。 ・プロジェクターを活用した映画会の企画を今年度より本格化。住民の新しい交流の機会に。 ・夜祭りなどの地域行事を通じて、自治会間につながり強化や住民参加の促進を目指す。								
		防災・減災の取り組み		・各イベントの調整や実施には自治会の協体制が不可欠。会場の遠近や小学校の違いで温度差があるが、災害時の連携にも通じる基盤となる。 ・顔が見える関係づくりが、防災・災害時の助け合いに直結するため、日常的な交流が重要。								
		人材育成・人材確保		・コミュニティカフェの運営負担軽減のため、協力者の育成・発掘が急務。 (得意分野を持つ参加者に声をかけ、運営に関わってもらおう工夫)。 ・自治会の会長やコミ協会長の業務負担が非常に重く、役割分担や次世代の担い手育成が課題。 ・イベントの企画・実行に参加する人材を増やし、多様な担い手が関われる仕組みづくりが必要。								
		安心・安全な地域づくりの推進		・地域全体のイベント調整がなされておらず、過重負担が安全・安心な運営の妨げになる可能性あり。 ・自治会間で温度差があるが、協力できる範囲で支え合う姿勢が、安心感のある地域づくりに寄与。								

南区地域福祉アクションプラン 令和7年度地区別計画進捗確認一覧

地区名	令和7年度推進計画			評価								
	スローガン	推進目標	R6年度取組んでの課題と次年度引継ぎ事項	令和7年度の目標と取組み	取組んだ活動事業	取組んでの課題と次年度引継ぎ事項	住民参加	協議の場づくり	関係機関団体との連携協働	つながりひろがり	住民の理解促進	周知PR
根岸	楽しく暮らせる住みよい根岸	支え合いのしくみづくり	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・担い手、人材育成と同時に顔の見える関係をつないでいくための活動が必要。例)場所を貸してくれるなどの住民にも役員と一緒のふりかえり会に声をかけるなど</li> <li>・他区からの依頼で認知症高齢者行方不明者のチラシを作成した。当地区で同様のことが起こった場合が心配</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・根岸地区での移動支援サービス検討にあたり、他地区の事例を学ぶ。地域ニーズ把握のため、アンケート調査の実施を検討中。データの活用が重要。</li> <li>・地域バスの利用促進に向け、時刻表配布や自由乗降、バス停増設、高井興野団地内への路線追加など提案してはどうか。高齢者の「歩く距離が長い」課題に対応するため、停車位置の改善も併せて提案。</li> </ul>								
		防災・減災への取組み	<p>【次年度への引き継ぎ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活支援サービスについて他地区の取組みを学ぶ機会を持つと良い</li> <li>・あやめ祭りやどんど焼きなど、地域の多様な住民が参加できる場を少しずつ工夫を加えながら継続していく</li> <li>・小学校の福祉教育を継続し、思いやりある住民を育てる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校と合同の防災訓練では、段ボールテント作成などを通じて多世代交流型の訓練を実施。好評のため継続予定。</li> <li>・防災講座や地域訓練の実施が、住民の防災意識向上に繋がっている。</li> <li>・地域内で災害時の避難支援や移動手段の確保についても並行して検討中。</li> </ul>								
		若い世代の参画・交流できる場の推進		<ul style="list-style-type: none"> <li>・あやめ祭りやどんど焼きなど、地域行事を通じた多世代交流の場を継続的に実施。キッチンカーの配置改善やふるまいの工夫により参加促進を図る。</li> <li>・認知症サポーター講座や防災訓練を通じ、小学生への地域課題の理解、参加の機会も創出。</li> </ul>								
		人材育成・人材確保		<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校での福祉教育(認知症講座等)を継続し、思いやりのある住民の育成を図っている。</li> <li>・子どもたちに地域の課題や支援活動への関心を持ってもらう働きかけが必要。</li> </ul>								
		安心・安全な地域づくりの推進		<ul style="list-style-type: none"> <li>・移動支援における区バス(利用促進・利便性向上)公共交通を活用し、高齢者や地域全体の安心感を高める取り組みを考えられるとよい。話し合う機会も必要。</li> </ul>								

南区地域福祉アクションプラン 令和7年度地区別計画進捗確認一覧

地区名	令和7年度推進計画			令和7年度の目標と取組み	取組んだ活動事業	評価					
	スローガン	推進目標	R6年度取組んでの課題と次年度引継ぎ事項			住民参加	協議の場づくり	関係機関団体との連携協働	つながりひろがり	住民の理解促進	周知PR
大通	今つなげよう！大通に安心と思いやりのネットワークを！	地域活動への住民の参画推進	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>次世代の地域参加呼びかけは、負担感に配慮し楽しめるようにといった工夫が必要</li> <li>徘徊ネットワークを作成したがその後の検証がされていない。包括支援センターとの情報交換が必要</li> <li>自治会長交代時、福祉活動は丁寧な説明が必要</li> <li>地区内福祉事業所等社会資源との災害時連携についての検討が課題</li> </ul> <p>【次年度への引き継ぎ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自治会長交代時、地域の福祉的な活動を丁寧に説明して引き継いでいく機会をつくる</li> <li>自治会に加入しない世帯への支援の検討</li> <li>包括支援センターとの認知症に関する情報共有の機会</li> <li>地区内の福祉事業所と災害時連携の検討協議を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般住民がアクションプランに参画しにくい現状を打破するため、入口としての啓発・説明が必要。</li> <li>「赤ちゃん事業」「にこにこ昼食会」などライフステージごとの接点を活用し、活動の入り口を広げ、福祉活動の目的や使途を明確化し、わかりやすく伝える必要あり。</li> <li>総会などの機会に、南区社協やコミ協からの事業説明を行い、協力関係の構築を促す。</li> <li>障がいや認知症への理解を深める講座・イベントを住民参加型で行い、地域福祉の当事者意識を高める。</li> </ul>							
		支え合いのしくみづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>民生委員による見守り訪問・配布活動など、日常的な地域支援を継続・強化。</li> <li>包括支援センターの関わりが希薄化。役割を住民・自治会長(特に若手の会長)へ周知(安心安全会議など活用)。見守りチャートなど既存ツールや支援対象者が迷わないよう、相談先のチャート整備・一覧掲示等工夫も必要。</li> </ul>								
		防災・減災の取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>自治会(例:大通西)による避難アンケートや住民把握などの災害時対応を支援。</li> <li>介護・障害福祉事業者のBCP(業務継続計画)の内容を地域と共有し、地域避難マニュアルには福祉事業所との連携が記載されていないため、連携内容の明記が必要や協働体制も検討。</li> <li>災害の種類・時間帯(夜間・休日など)に応じた避難計画の柔軟性が必要。</li> <li>福祉事業所と日常的に関係をつくる場(みなふくねっと活用など)で交流・協働を図る。</li> <li>避難受入が難しい建築物、状況もあるため、継続した検討が必要。</li> </ul>								
		つながりのある地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>各自治会に向けて、アクションプランの趣旨・目的を地域福祉の視点で説明し、地域住民の当事者意識、理解の共通化を進める。</li> </ul>								
		情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>「アクションプラン」の言葉そのものの意味を分かりやすく説明する必要あり、チラシ・回覧・掲示物など、見てすぐ伝わる形式の工夫が求められている。</li> <li>「コミ協だより」に相談先や取組内容などの情報を定期的に掲載することが有効。</li> </ul>								

南区地域福祉アクションプラン 令和7年度地区別計画進捗確認一覧

地区名	令和7年度推進計画			評価								
	スローガン	推進目標	R6年度取組んでの課題と次年度引継ぎ事項	令和7年度の目標と取組み	取組んだ活動事業	取組んでの課題と次年度引継ぎ事項	住民参加	協議の場づくり	関係機関団体との連携協働	つながりひろがり	住民の理解促進	周知PR
白根	広げよう地域の輪 風の舞うまち しろね	支え合いのしくみづくり	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・白根お互いさま支援隊では、支援隊の人たちが高齢化しており、次世代のボランティア育成が必要。</li> <li>・地域の取り組みや白根お互いさま支援隊の活動など知らない(情報が届いていない)人がいることから、活動の周知が求められる。</li> <li>・地域の防災訓練の際、白根第一中学校や白根高校に開催案内を出したが、参加がなかった。防災訓練だけではなく、地域行事等に参加してもらうための検討が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・白根お互いさま支援隊のチラシを改定・提出済。配布は敬老会や民生委員の見守り活動時を想定。依頼内容は草取り・ゴミ出し・新たに追加した買い物代行など。リピーター利用が多く、個別に応じた調整も行い、支援未利用の場合にも「大丈夫になった」などの連絡があると、調整側の把握に役立つ。</li> <li>・活動内容や意義は、砂押町内会・北部会議等を通じてSCが説明。今後も継続的に自治会へ周知していく。</li> </ul>								
		災害への取組み	<p>【次年度への引き継ぎ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支え合いのしくみづくり、白根お互いさま支援隊の活動周知のため、自治会等と話をする機会について相談や依頼</li> <li>・白根お互いさま支援隊のチラシの修正、配布での周知</li> <li>・中高生へ地域行事や防災訓練への参加の呼びかけ、相談</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南部防災訓練は10/26実施予定。起震車手配済。白根高校生徒にも参加を呼びかけ予定。北部も参加を声かけ済。</li> <li>・中部では自治会ごとに防災計画を進行(例:能登で1防災訓練、穂波町で三条の防災関連施設見学など)。</li> <li>・防災士資格取得支援として、費用半額助成制度を実施。白根高校生徒へも今後周知予定。</li> <li>・白南中学校の防災訓練では、地域の防災士が主体となり、中学生も関心を持てる形で実施。今後の参考に。</li> </ul>								
		担い手の育成		<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで固定メンバー中心だった支援活動に、今年度から新たな地域役員も参加し始めた。</li> <li>・若い世代へのバトンタッチを見据え、支援内容の可視化(マニュアル整備等)が必要。</li> <li>・防災士資格取得や訓練参加など、高校生・中学生への働きかけを通じ、次世代への関心と関与を育てていく。</li> </ul>								
		白根児童センターと地域とのふれあい		<ul style="list-style-type: none"> <li>・例年通り、継続し実施、働きかけを行っていく。</li> </ul>								

南区地域福祉アクションプラン 令和7年度地区別計画進捗確認一覧

地区名	令和7年度推進計画			評価									
	スローガン	推進目標	R6年度取組んでの課題と次年度引継ぎ事項	令和7年度の目標と取組み	取組んだ活動事業	取組んでの課題と次年度引継ぎ事項	住民参加	協議の場づくり	関係機関団体との連携協働	つながりひろがり	住民の理解促進	周知PR	
味方 な じ ら ね ば か い ~ ね い き い き ふ れ あ い さ さ え あ い 味 方 地 区		支え合いのしくみづくり	【課題】 ・老人クラブの入会者の減少や後継者不足問題 ・民生委員児童委員の担い手不足による欠員が継続 ・みかた応援隊の活動により、高齢者の生活の課題が見えてきた(買物や通院に苦勞する方々など)	・「みんなのみかた応援隊」では、有償ボランティア制度の伝わり方に課題があり、記載の工夫が必要。チラシ表現の見直しが求められている。 ・地域活動(例:お宮の掃除など)している男性もいる。応援隊への男性ボランティア参加促進、新たな担い手として、その一環に、男性向けの「茶の間」など居場所づくりはどうか。									
		地域共生社会の実現	【次年度への引き継ぎ】 ・生活支援サービスみかた応援隊の登録ボランティアの増員をはかる ・除雪やゴミ捨てなど、身近な近隣者の助け合いが必要な活動に関しては、自治会との連携やつながりを深めることができる取組みを行えると良い ・担い手不足の課題に対し、小さなステップで地域活動を少しずつバージョンアップして新たな住民が参加しやすいきっかけをつくれると良い	・自治会長の交代が早く、引き継ぎが不十分になりがち。現役世代の会長も多く、日中の会議参加が難しい。そのような中でも、防災訓練などへの協力的な姿勢があるため、関係づくりを継続していくことが重要。 ・小中合同の防災訓練は今年度も実施予定で、他地区にない特色ある取組みとして継続中。									
		地域の中での交流活動の推進		・味方小のおむすびクラブや「お~いよおの会」(海水浴・スキー教室など)など、子ども向け活動に多くのボランティアが関わり、地域連携ができています。アルミ缶回収など、住民参加型の自主財源づくりも行われ、育成協とも協働で行っている。									
		組織強化		・応援隊では、現状ボランティアに多忙な人が多く、担い手の偏りが課題。 ・自治会長や役員への働きかけや説明を通じて、理解と興味を得られる場を設け、理解促進の機会を持ち、地域との連携を図りたい。									
		PR活動		・応援隊の情報は茶の間等に出ていない人には届きにくく、チラシだけでなく直接伝える方法が必要。 ・自治会や地域の集まりで説明の機会を増やし、周知と参加促進を強化する。									

南区地域福祉アクションプラン 令和7年度地区別計画進捗確認一覧

地区名	令和7年度推進計画			評価								
	スローガン	推進目標	R6年度取組での課題と次年度引継ぎ事項	令和7年度の目標と取組み	取組んだ活動事業	取組での課題と次年度引継ぎ事項	住民参加	協議の場づくり	関係機関団体との連携協働	つながりひろがり	住民の理解促進	周知PR
月湯 あいさつ 声 かけ 思いやり つ ながり 獅 ふつつ 子の里		支え合いのしくみづくり	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定年の延長により60歳を過ぎても働いている人が多く役員のみ手がない。</li> <li>・民生委員と自治会長との情報共有の場があるとよい</li> <li>・PTAと一緒に地域の活動を取り組んでいきたい</li> </ul> <p>【次年度への引き継ぎ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度行った内容の気付きや課題を検討しながら来年度も引き続き継続していく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難行動要支援者への支援や「無事です」ステッカーの作成など、災害時の備えをコミ協や地区社協で検討。</li> <li>・雪の日には民生委員が見守り訪問や簡易除雪を行っており、日常の支え合い活動も継続されているが、「できることは自分たちで」を基本に、住民一人一人の意識を育てる、2層構成員(地域の福祉推進者等)と連携し、支え合いの声を地域で広げていく。</li> </ul>								
		地域共生社会の実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時に地域に必要なことを拾い上げ支え合いの取り組みで具体案を検討していく</li> <li>・地域既存サービスの継続支援</li> <li>・自治会長と民生委員との情報共有の場づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員の一斉改選・自治会長交代のタイミングを見て、情報共有の取り組みを実施予定。自治会・民生委員それぞれ個別に対応する形を検討中。</li> <li>・自治会長の任期が短く相談が出にくい中、SC・アクションプラン推進員が自治会と民生委員に声かけ、月湯地区の取り組み紹介、協力、意識づけできるようにしていきたい。</li> <li>・婦人会や老人会の縮小などにより、地域で先導する人材が不足している。</li> </ul>								
		地域活動への住民の参画推進		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ふれあい茶ろん(移動茶の間)」を遊生会の会場協力を得て開催検討中。</li> <li>・男性参加を促すため、「夜の茶の間」やお酒の提供など新しい仕掛けも必要では。</li> <li>・地区社協やコミ協事業(例:健康講座、福祉と健康のつどい)への参加促進として、ポイント制の導入も案の一つ。</li> <li>・外出促進として、月湯地域のお茶の間へ出かける、外出リフレッシュを働きかける。</li> </ul>								
		情報発信		<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミ協通信・地区社協だよりを活用し、情報の発信、利用につなげていく。</li> <li>・住民バスや「とくし丸」などサービス利用が少しずつ増。周知は大事。</li> <li>・西地区は既存サービスの利用者が少ない。不便のため、家族支援を受ける、助があることが前提なのかもしれない。</li> </ul>								